



2022年5月
No. 53-54-55
合併号

名古屋工業大学機械工学科内巴会本部
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
巴会庶務担当 牧野 武彦 准教授
ホームページ : <http://tomoe.web.nitech.ac.jp/>

巻頭言



「企業内転職を考える」

巴会関西支部長
掛田健二 (M45)

4月17日付け日経新聞1面に「ミドル転職5年で2倍」が掲載され、転職がバズワード化している。企業生活35年の反省も込めて、企業内転職を考えたい。1972年名工大機械科修士課程修了後、日立造船に入社、環境プラント関連一筋で定年退職まで35年勤務。技術履歴は、ごみ焼却発電・廃棄物3Rの設計開発、第2次AIブーム開発参加後に、業界活動に従事。入社11年目で技術士取得、21年目から業界活動、35年目で定年退職、39年目から技術士会近畿本部で中国中心の海外活動に従事中。企業人生で技術者生命を絶つ可能性が4回、転職機会が2回あった。

企業は栄枯盛衰がつきもので、勤続と転職は隣り合わせ。船台に1隻もない造船大不況を機に銀行管理・業界再編成で、本体従業員は最盛期2.8万人が数年内に1.2万人に減少。現在は世界市場で元技術導入先のスイス企業を傘下に持つ環境プラント建設と運営を主力に、機械、インフラ、新分野などで連結1.1万人。

企業内転職から見ると、周囲は想像以上にあなたを見ており、転職オファーは真剣に考える価値がある。前提は自分の実務能力の充実であり、企業内研修制度、資格取得、学会・業界の活用は、時間の有効活用方法である。部門内資料・情報の整理や、他人の整理術の活用は価値が高い。日立造船の研修で、

英検2級保持者を1級に上昇させ社内英語漬け宿泊研修が1ヶ月間あり、米国中高校レベルの会議進行、ディベート、多量の英語映画・文章ヒアリングと英語発表は、英語脳を作る上で一番価値があったと高評価。係長昇格に論文が必須で、研修レベルも高いため、退職者の再就職は評価が高い。

さて、物作り企業（ソフトウェア主体なら3、4年短縮）のキャリア形成私案を示す。

入社5年間は、基礎体力作り期。実務習得。自社資料（日英+1言語）の暗記。TOEIC高得点。

入社5-15（20）年は、企業収益に貢献期。実務で実績づくり。学会参加。特許取得30件。

入社15（20）-25（30）年は、職務の幅の拡大期。設計開発から企業内転職、海外勤務、関係会社出向の開始。高度資格取得。特許取得20件。

入社25-35年は、企業内転職、関係会社出向期。博士号・技術士資格取得。企業。学会・業界部門主導役。

入社35-55年は、企業定年、転職期。学士入学。学会・業界・地域・技術コンサルタントが主体。

海外関係では40才からスイス、カナダ、中国、米独仏、タイ他の17ヶ国に出張、定年後は中国、モンゴル、台湾他7ヶ国を訪問。インナーサークルの価値、起業精神、若壮年の上昇渴望と障壁、新聞報道と現地感覚のギャップ、生活の楽しみ方など、得るところが多い。海外で見聞を広める価値は、非常に高い。

日立造船の会議室に「会議鉄則」額がある。「会して話し、議して決し、決して行う、行ってその責を取る」は至言。会議の少数意見採択には最低1名の同調表明が必要、基調講演への質疑応答は許可など、米国の会議に驚き、日本の常識は世界の非常識を痛感した例が多い。「人間到る処青山有り」は、企業活動がグローバル化するに伴い避けられないようだ。

関東支部便り

平成30年度下期～令和3年度下期活動報告（2018.10.1～2021.9.30）

令和2（2020）年3月以降、新型コロナウイルス感染症（COVID19）により、種々の活動が中止・延期され、現在もその状況が続いています。

巴会関東支部では、名古屋工業会東京支部（以下、名工会東京支部）の活動を支援し、その行事に積極的に参加しています。名工会東京支部の最大イベントは、毎年11月に開催される総会並びに懇親会ですが、これに合わせて懇親会終了後、巴会関東支部の懇談会を「秋の集い」として実施しています。その他、巴会の独自企画としては、電影会（電気系学科）との交流会を平成27（2015）年から始めました。そのほか、名工会東京支部の企画：ごきそサロンやエクスカーション、ゴルフ会等に適宜、個々に参加しています。以下に平成30（2018）年度下期からの活動報告をいたします。

名古屋工業会東京支部総会及び巴会秋の集い

1）平成30（2018）年11月10日（土）に鉄鋼会館にて開催。全体で約130名、巴会から10名が総会、講演会及び懇親会に参加しました。懇親会后同会館の別室にて、秋の集いを開催。無動力歩行支援機の講演をなさった佐野明人教授を迎えて懇親を深めました。

2）令和元年（2019）11月16日（土）に鉄鋼会館にて開催。全体で約140人、巴会から22名が総会、講演会及び懇親会に参加。懇親会后同会館の別室にて、巴会会長の藤本名誉教授を迎えて、電気・機械工学科の最近のトピックスなどを紹介していただきました。

巴会・電影会交流会

令和元年（2019）6月29日（土）、スカイツリーソラマチ5Fにあるドコモの未来体験空間「PLAY 5G ～明日をあそべ～」を見学し、同ビル30FにあるBEERS & SPICE SUPER“DRY”で懇親交流会を行いました。PLAY 5Gでは第5世代移動通信システムである「5G」の超高速通信；超低遅延が実感できる展示があり、遠隔合奏や建設機械の遠隔制御、ジオスタ、5Gロボット、遠隔VRについて館長から説明を受けました。総勢20名、内、巴会から13名が参加いたしました。



2019年6月29日巴会・電影会交流会

エクスカーション

令和元年（2019）5月25日（土）、名工会東京支部開催の世界遺産「富岡製糸場」や群馬県甘楽郡の国指定名勝「楽山円」等を巡る日帰りバスツアーに、全体で35名、巴会から4名（内2名は夫人同伴）が参加しました。



2019年5月25日エクスカーション

ごきそサロン

令和元年（2019）6月5日（水）、第63回ごきそサロンが八重洲倶楽部で行われました。（株）日本環境認証機構の蛭田道夫様（M49）の講演「環境問題の現状と今後について考える—環境問題について一緒に考えましょう—」が行われました。参加者31名、巴会からの参加者は10名でした。第64回は2019年12月4日（水）、同倶楽部にてE52の久保裕史様から「万事塞翁が馬、レジリエントな生き方」の講演が行われました。

2020年、21年はコロナ禍のために開催を中止していましたが、22年度に再開の予定です。

東京棋友会

毎月第一土曜日にニュー新橋ビルの「東京囲碁会館」にて自由参加で活動し、秋季大会、打ち納会、打ちはじめ大会、囲碁研修旅行等をしていました。巴会から1名が会員、金田守加（M36）様は棋友会会長で高段者でした。残念ながら2020年3月末日にて委員会活動は休止し、同好会としての活動になりました。

ゴルフ会

会員数32名。年3～4回、神奈川、千葉、東京、埼玉でゴルフコンペを開催しています。コロナ禍ではありましたが、2020年の11月には活動を開始しています。巴会からは7名が会員ですが、2021年の11月にはM18の小関健二様の白寿の記念大会として行われ、100歳でプレーをなさることを目標になさっていらっしゃるとのこと、益々お元気なご様子でした。

以上

（関東支部長 戸澤宏一 M55）

関西支部便り

令和2年度上期～令和3年度下期活動報告（2020.4.1～2022.3.1）

1. 2020年度活動報告（2020.4.1～2021.3.31）

（1）関西支部総会・懇親会

2020.7.4は中止。コロナ禍により、7月総会中止をHPに記載。議案・予算・人事は役員会で審議・了承された。

（2）ゴルフ会

2020.6.3は中止。2021.3.26 大津CC西で開催。

（3）2020年度名古屋工業会大阪支部総会（ハイブリッド会議）が10月3日に開催。

大阪支部では、技術士会1回、交流サロン1回をウェブ会議として開催。

（4）1月11日に「維持会費」を主要原資とした剰余金から「名古屋工業大学基金室への学生援助金30万円の寄付」を行い、HPに領収書を掲載しました。

2. 2021年度活動報告（2021.4.1～2022.3.31）

（1）2021年巴会関西支部WEB総会

2021.7.3に開催。案内メール179、出席20、欠席連絡71。

役員改選：

支部長：M45 掛田健二 副支部長：M51 坪田博隆、M58 筒井真作

会計：M53 松井正樹 会計監査：M47 安藤真一郎

幹事：M45 伊藤俊明、M46 松永純二、M47 田岡鉄男、M47 吉野章英、M56 世良正博、M63 祖父江浩
学年幹事：M43 堀内 満、M44 木村正彦、M45 藤川

昭信、M46 中村修、MH08 腰山和喜

講演：M46 西田悦太郎氏「ブラジル駐在15年で伝えたいこと」、M45 掛田健二氏「モンゴル国の自然・資源・人々」

（2）ゴルフ会

2021.11.5 大津CC西、2022.3.25 大津CC西。

（3）2021年度名古屋工業会大阪支部総会（ハイブリッド会議）が9月17日に開催。

講演：トヨタ整備学園理事長横山 裕行氏（K49）「ダイハツのモノづくり、コトづくり～お客様に寄り添い、暮らしを豊かに～」

大阪支部では、技術士会2回、交流サロン4回をウェブ会議として開催。

3. 2022年度活動計画（2022.4.1～2023.3.31）

（1）関西支部総会・懇親会

2022.7.2（形式検討中）

（2）ゴルフ会

2022.10.06、2023.03

（3）2022年度名古屋工業会大阪支部総会（ハイブリッド会議）10月01日

大阪支部では、技術士会2回、交流サロン4回をウェブ会議、歴史探訪会1回を開催予定。

以上

（関西支部長 掛田健二 M47）

巴会運営便り

- 新型コロナウイルスのまん延のため2020年度の総会は中止となりましたが、2021年度は北村副会長の発案と尽力により8月21日にオンライン会議において実施され、全議案が承認されました。オンライン会議の連絡は巴会のウェブサーバに掲載されました。総会では巴会賞の受賞式を除いて、2020年度予算計上した学内事業のすべてが中止になったことが報告されました。また、2021年度においても実施の見通しが立たない旨が説明されました。
 - 2021年10月28日にオンライン会議にて理事会が開催され、2021年度の活動実績等について議論・報告がなされました。2022年4月21日に理事会がオンラインにて開催され、2021年度決算案、2022年度活動計画・予算案、理事交替等について協議・報告がなされ、新年度総会への対応・準備を行いました。また巴会会報が2020年度、2021年度、2022年度の合併号として発行することが報告されました。
 - 2022年3月26日に、名古屋工業大学NITechHallに於いて電気・機械工学科機械工学分野の学位授与式が行われ、学位の授与に先立って巴会賞授与式が行われました。卒業記念パーティの開催は中止となりました。
- (2021年度庶務担当、飯田雄章)

訃報 (次の方々のご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り致します。)

S18 三輪 国夫	S22 山田 豊	S23 藤原 宗昌	S28 船橋 鉦一	S39 濱 興吉
S19 岩崎 弘	S23 伊藤 昭	S23 若山 辰雄	S33 堀田 明男	S42 鎌田 聡士
S19 萩岡 雄一郎	S23 木村 稔	S24 片山 久典	S33 森田 宏	S46 白澤 秀則
S22 志水 正男	S23 丹羽 孝司	S25 財津 直人	S34 小島 壮	S48 池田 寿一
S22 津田 俣	S23 林 利彦	S25 山田 武雄	S34 山下 浩	S49 大西 一
S22 林本 政夫	S23 藤井 幹勝	S26 松尾 安博	S35 高木 三則	S50 宮田 和敏

2019年度から2021年度に巴会に連絡頂いた方々を掲載しています。
お気づきの訃報がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

名古屋工業大学へのご寄付のお願い

名古屋工業大学は、産業界、地域社会、そして卒業生の皆さまから支持される魅力的な大学づくりを目指しています。世界へ羽ばたく多くの学生・研究者を支援するため、皆さまからのご寄付・ご支援をお願いいたします。詳細については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.nitech.ac.jp/kikin/>

学 内 報 告

<叙位・叙勲>

2019年、2020年に叙勲をお受けになった巴会会員のご芳名をお知らせします（敬称略）。

川嶋 紘一郎（IIM40）

松原 十三生（M36）

高山 和喜（M38）

（備考）年齢は受賞時

- ・ 2019年（令和元年度秋） 瑞宝中綬章 名古屋工業大学名誉教授 川嶋 紘一郎 三重県桑名市 78歳 昭和40年3月名古屋工業大学第二部機械工学科卒業
- ・ 2019年（令和元年度秋） 瑞宝中綬章 名古屋工業大学名誉教授 松原 十三生 三重県度会郡玉城町 81歳 昭和36年3月名古屋工業大学機械工学科卒業
- ・ 2020年（令和2年度春） 瑞宝中綬章 東北大学名誉教授 高山 和喜 宮城県仙台市青葉区 80歳 昭和38年3月名古屋工業大学機械工学科卒業

<人事異動>

名古屋工業大学電気・機械工学科，大学院電気・機械工学専攻の機械工学分野において次の人事異動がありました（敬称略）。

<昇任>

2020年4月1日 准教授 岩本悠宏

2021年4月1日 教授 田中由浩

2021年4月1日 教授 玉野真司

<着任>

2020年4月1日 助教 上村知也

2021年10月1日 助教 Su Ziyi

2022年4月1日 助教 武藤真和

2022年4月1日 スタートアップ助教 伊藤愛

<定年退職>

2021年3月31日 教授 浅野勝宏

2021年3月31日 教授 萩原正弥

2021年3月31日 教授 水野直樹

2021年3月31日 助教 大羽達志

<学生を受賞>

2019～2021年度の巴会賞とその他の各賞の受賞者は次の通りです（敬称略）。

- ・ 2019年度
 - ☆巴会賞
横山光志郎、村岡佑哉、渡邊涼介
 - ☆名古屋工業会賞
杉坂卓海、坂本湧基
 - ☆日本機械学会畠山賞
伊藤亮介、鈴木悠太
 - ☆日本機械学会三浦賞
竹内祐人、稲垣宏紀
 - ☆精密工学会東海支部学生優秀賞
杉浦良、池田遥一
- ・ 2020年度
 - ☆巴会賞
長谷川智也、佐藤滉大、木村大地
 - ☆名古屋工業会賞
佐橋拓真、鈴木隆吾
 - ☆日本機械学会畠山賞
小濱圭右、服部友哉
 - ☆日本機械学会三浦賞
稲垣達也、榭谷亮介
 - ☆精密工学会東海支部学生優秀賞
山田剛士、村山大騎
- ・ 2021年度
 - ☆巴会賞
森敬吾、森本日向子
 - ☆名古屋工業会賞
河村創太郎、西尾陸
 - ☆日本機械学会畠山賞
今村文哉、櫻井祐輔
 - ☆日本機械学会三浦賞
伊藤愛、丹羽和宏
 - ☆精密工学会東海支部学生優秀賞
西拓海、土方祥平
 - ☆SICE（計測自動制御学会）優秀学生賞
浅野紘央、山本遥輝



2021年度巴会賞受賞者

川嶋先生が瑞宝中綬章を受章

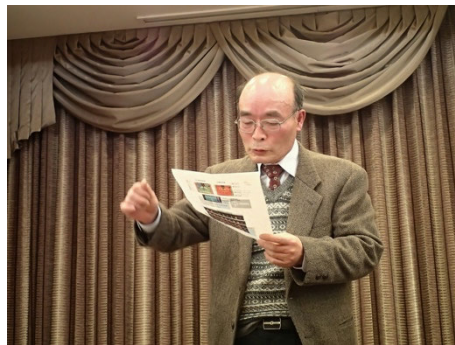
令和元年11月3日付けで名古屋工業大学名誉教授・川嶋紘一郎先生が「瑞宝中綬章」をめでたく受章されました。瑞宝章は「学校教育又は研究等の、公共的な業務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた者を表彰する場合に授与する」とされており、先生の長年にわたる超音波診断研究とその成果が認められたものだと思います。

川嶋研究室の出身者有志でお祝いの記念品として「叙勲額」をお贈りいたしました。併せて、かつて川嶋先生が支部長・幹事などで長年ご尽力された（一社）日本非破壊検査協会（以下JSNDI）中部支部の主催で叙勲記念講演会と同支部と川嶋研究室OB会の共催で叙勲受章祝賀会を開催する予定でした。しかしながら、講演会・祝賀会はコロナ禍で開催を延期とせざるを得ず、講演会は令和3年10月7日（木）にJSNDI中部支部特別講演会として、オンラインにて開催いたしました。当日はJSNDI並びに川嶋研関係者併せて26名（後日録画視聴27名）が参加し、「非線形超音波法による非破壊材料評価の現状」と題して川嶋先生にご講演をいただいた後、先生と雑談する時間も設けられ、久しぶりに旧交を温めることができました。

先生は昨年80歳を超えられましたが、退官後先生が設立された（有）超音波材料診断研究所にて、旧経産省原子力安全・保安院、（国研）日本原子力研究開発機構、等の公的機関や大手自動車会社、重電メーカー、鉄鋼会社他の民間企業から多くの受託研究・共同研究・受託測定を精力的に進められるとともに、これまで約20年間の非破壊超音波測定による、疲労亀裂にとどまらず材料内部の異質部や不健全部の可視化画像事例を多数掲載した「非線形超音波法による非破壊材料評価—材料内微小異質部・損傷の可視化—」を昨年出版され、益々お元気で活躍されています。

一方、2020年2月に予定していた祝賀会についてはコロナ禍の状況が見通せず、止む無く中止することになりました。お祝いの記念品贈呈に賛同いただいた51名の方からの賛同金の剰余金と、祝賀会の参加予定者33名からの事前徴収していた祝賀会会費を併せ合計245,900円を本年4月11日に巴会に寄付いたしました。川嶋研関係者一同、巴会の更なるご発展を祈念いたします。

（川嶋先生叙勲記念祝賀会 発起人 代表 戸澤宏一（M55）、伊藤智啓（M58） 堀部光俊（M55））



川嶋紘一郎名誉教授（2014年4月11日）



勲章及び章記



寄付目録を受け取る北村副会長

ROAD TO DREAM !!

名古屋工業大学ものづくりテクノセンター付属 フォーミュラプロジェクト

～第17回学生フォーミュラ日本大会2019 総合優勝を記念して～

「目標は今年こそ総合優勝することです!去年の借りを必ず返します!」

私達が、活動を応援していただいた方々に必ず伝えていた言葉です。2018年9月に開催された第16回大会、名古屋工業大学フォーミュラプロジェクトは惨敗を経験しました。スコアは高くも審査書類の提出から受けたペナルティで得点を伸ばせなかった静的審査、急遽到来した台風による最悪のコンディションからポテンシャルを引き出せずみるみるタイムが落ちていく動的審査、そのどちらもチームの現状が引き出せる限界の力だと受け入れるのは当時のメンバー全員にとってとても悔しいものでした。17回大会に向けて、私達は総合優勝するために必要なことをすべて見直しました。

まず、静的審査に対する取り組みです。静的審査は、コスト審査・プレゼン審査・デザイン(設計)審査の3つで構成されます。チームとして定期的に全員で集まりこれを進めることでコミュニケーションを取りやすい環境を整え、円滑に連携していくことでこれらに取り組みました。結果、例年よりも良い点数を取ることはできませんでしたが、やり方を変えたことで見えてきた新たな課題がチームに蓄積され、20位前後であった静的審査総合順位をそののちの19回大会にて4位まで伸ばすことにつながっています。ここで得た「効率アップを目指した円滑な連携」は、チームで何かに取り組む際に現在も意識していることの一つです。

また、動的審査に向けた車両開発も徹底的に見直されました。冬にも積極的に走行テストを実施し16回大会の車両を徹底的に評価することで、無駄のない設計を目指していきました。思い通りに機能しない

空力部品はなぜ機能しないのか、本当に必要なか、各々が分析した解析・実走データを持ち込み朝から晩まで先輩・後輩を気にせず熱く討論したのは、今となってはとても楽しかった経験です。当時学部2年生だった自分は、サスペンションの設計を担当しました。先輩から口酸っぱく言われたのは、「すべての数値諸元に理由をつける」ことです。なんとなく例年と同じ設計ではなく、その理由を深く考察することで車両をさらに洗練していくことを目指していきました。もちろん、まだまだ知識が少なかった自分はたくさんの文献を読みあさったり、詳しいスポンサー様やOBの方々に質問しまわりました。この経験で学んだ「難解な課題に取り組む取り組み方」も、自分の糧となり今まで研究や仕事に生かすことができています。

第16回大会で惨敗を経験し第17回大会で優勝するまでの取り組みはすべて、エンジニアとして働く今日も生きている自分の血肉と言っても過言ではありません。フォーミュラプロジェクトは私にとって、そんな力を与えてくれた大切なものです。コロナ禍を経ても、フォーミュラプロジェクトは参加する学生に困難を与え、それを超えるための力を与え、エンジニアとしてかけがえのない経験を与えられる場所であり続けることができています。プロジェクトOBとして、エンジニアの端くれとして、こんなに守りたい活動はありません。

様々な困難にこれからも立ち向かい続ける名古屋工業大学フォーミュラプロジェクトを、今後とも応援の程よろしく願いいたします。

工学専攻 創造工学プログラム 1年
吉田 出海(ヨシダ イズミ)



ROAD TO DREAM !!

名古屋工業大学ものづくりテクノセンター付属 フォーミュラプロジェクト

新型コロナウイルス感染症が初めて日本で流行し、緊急事態宣言が発出された 2020 年 4 月に私は名古屋工業大学へ入学し、フォーミュラプロジェクトに参加しました。新入生説明会、会議、設計発表、先輩からの引継ぎ等はすべてオンラインで行うという例年とは異なる活動となりました。総合連覇を目標に掲げた 2020 年(第 18 回)大会は中止、2021 年(第 19 回)大会は大会会場であるエコパでの車検・動的審査の現地開催は中止となり、静的審査のみオンラインで開催されました。

現在の弊チームメンバーで実際に動的審査を経験したのは 1 人となっており、私たちだけではなく日本の学生フォーミュラではマシンを作ることさえままならないチームやノウハウや技術の継承がうまく行っていないチームが多くあります。しかし、このような状況だからこそ私たちはなぜフォーミュラカーを作るのか、静的審査書類を作成するのか、ものづくりとは何なのか見つめ直すことができました。そして私たちが導き出した答えは「EV への挑戦」です。今年度で 20 台となる ICV の開発を N.I.T-20 プロジェクトで終了し、来年度 N.I.T-21 プロジェクトより EV 開発を開始いたします。弊プロジェクトが創設以来追求してきた「K・T・T (軽量・低重心・低慣性) な運動性能の高いマシンをもう一度自分たちの手で追求し、世界で一つのマシンを作り上げるというものづくりの喜びや楽しさを大切にしながら、最後の ICV、初の EV を作り上げていきます。

今年度プロジェクトでは経験の浅いメンバーが主体となるため、まずは設計、製作、走行評価の一連のサイクルを経験し、基礎力を身に付けることを目的とし大会へ向けて ICV の開発を行い、EV に関

する全体設計、モータ、インバータ、バッテリー等の主要なパーツの選定も行います。

現在は 5 月 1 日に今年度大会車両である N.I.T-20 のシェイクダウンを予定しており、車両製作に励んでおります。シェイクダウン完了後は大会へ向けた走行テストを行います。過去車両での故障率と走行距離の関係より 600km を走破することを目標に全種目完走を確実にできるような車両に仕上げます。静的審査に関しましても昨年度の反省点を見直し、完成度の高い資料の作成を目指し、大会では総合優勝をした時の得点を上回る 800 点以上の獲得を目標に活動して参ります。

最後になりますが、私たちがこのような恵まれた環境で、貴重な学生フォーミュラの経験ができておりますのは巴会の皆様のご支援、ご声援のおかげであるとメンバー一同感じております。今年は 2 年振りにエコパでの現地開催が 9 月 6 日(火)~10(土)に予定されております。大会本番でエコパを颯爽に走り抜けている姿をお見せすることが私たちにできることだと思いますので是非お越しいただけますと幸いです。今後とも学生フォーミュラ活動を通して社会で活躍できるエンジニアを目指して活動に励んで参りますので応援の程、よろしく願いいたします。

小林 恵成 (コバヤシ ケイセイ)

リーダー：生命・応用化学科 3 年

名古屋工業大学 11 号館 107 室

Mail : 32111088@stn.nitech.ac.jp

Tel : 052-735-5629

<http://www.qitc.nitech.ac.jp/formula>



令和3年度(2021年度)卒業生の進路・就職先

■ 大学院 修了者

(株)IHI エアロスペース・エンジニアリング	中部電力(株)	日立造船(株)
愛三工業(株)	(株)デンソー	(株)FUJI
(株)アイシン	(株)デンソーウェーブ	ブラザー工業(株)
(株)アウトソーシングテクノロジー	デンソーテクノ(株)	北陸電力(株)
朝日インテック(株)	(株)東海理化電機製作所	ホシザキ(株)
(株)アドヴィックス	東芝インフラシステムズ(株)	本田技研工業(株)
アビームシステムズ(株)	東芝キャリア(株)	(株)マキタ
(株)生方製作所	豊田合成(株)	三菱重工業(株)
AGC(株)	トヨタ自動車(株)	三菱電機(株)
オークマ(株)	(株)豊田自動織機	村田機械(株)
川崎重工業(株)	トヨタ車体(株)	(株)村田製作所
キオクシア(株)	トヨタ紡織(株)	(株)メニコン
(株)クボタ	日産自動車(株)	ヤマザキマザック(株)
工機ホールディングス(株)	日鉄ソリューションズ(株)	(株)LIXIL
(株)小松製作所	ニプロ(株)	リンナイ(株)
sansan(株)	日本ガイシ(株)	自営業
(株)ジェイテクト	日本信号(株)	名古屋工業大学大学院
スズキ(株)	日本特殊陶業(株)	
ソフトバンク(株)	(株)パッファロー	
(株)竹中工務店	パラマウントベッド(株)	

■ 学部 第一部 卒業者

アイエックス・ナレッジ(株)	(株)システムサーバー	(株)村田製作所
愛三工業(株)	(株)セキソー	森永乳業(株)
(株)エッチ・ケー・エス	デンソーテクノ(株)	ヤマハ発動機(株)
オーエスジー(株)	豊田合成(株)	リョービ(株)
川重岐阜エンジニアリング(株)	トヨタ自動車(株)	
KYB(株)	トヨタ紡織(株)	名古屋工業大学大学院
工機ホールディングス(株)	(株)フジドリームエアラインズ	

■ 学部 第二部 卒業者

(株)足立ライト工業所

2022年度 巴会理事会・総会 議題資料

(1) 2022年度役員名簿 (案)

会 長：藤本 英雄 (名誉教授、S47)

副会長：学外・

学内・長谷川 豊 (教員)

理 事：戸澤 宏一 (S55、関東支部長)

掛田 健二 (S45、関西支部長)

武内 博明 (H01) 糸魚川 文広 (教員)

倉内 孝 (H09) 山田 格 (教員)

石川 拓生 (S60) 伊藤 智啓 (教員)

大島 成通 (H02) 早川 伸哉 (教員)

富田 庸公 (H01) 岩本 悠宏 (教員)

宇佐美 初彦 (H03) 牧野 武彦 (教員)

仙石 武広 (S59) 杉田 修啓 (教員)

泉 隼人 (教員)

武藤 真和 (教員)

藤井 郁也 (教員)

上村 知也 (教員)

監 事：学外・近藤 邦治 (S45)

学内・北村 憲彦 (教員)

特別顧問：金原 淑郎 (S25)

顧 問：石川 宏 (S30)

塩見 正直 (S34)

江崎 俊夫 (S38)

服部 桂 (S41)

(2) 2021年度事業報告 (案) および 2022年度事業計画 (案)

	2021年度事業報告	2022年度事業計画
会報	「ともえ」No.53-54-55 発行 2022.5	「ともえ」No.56 発行 2023.5
総会	オンライン	8月27日(土) ハイブリッド
講演会	中止	電気・機械工学科 電気電子分野 岩崎教授 仮題「基幹工学教育課程について ～新たな学びへの挑戦」 電気・機械工学科 機械工学分野 田中教授 仮題「機械工学分野の将来ビジョンについて」
総会付随行事	中止	中止
懇親会	中止	中止
支部	(1) 関西支部総会 (WEB 総会) 2021.7.3 ゴルフ会 2021.3.26, 11.05 新年 (懇話) 会 中止 (2) 電影会・巴会 (関東支部) 交流会 中止 関東支部秋の集い 中止	(1) 関西支部総会・懇親会 2022.7.2 (形式検討中) ゴルフ会 2022.3.25, 10.06 新年 (懇話) 会 中止 (2) 電影会・巴会 (関東支部) 交流会 10月に開催予定 関東支部秋の集い 11月12日(土)に開催予定
学内事業	(1) ソフトボール大会 中止 (2) 工場見学会補助 中止 (3) 巴会賞授与式 学位授与式にて実施 (4) 院生学会出席補助 なし (5) フォーミュラカー製作補助	(1) ソフトボール大会 (2) 工場見学会補助 (3) 巴会賞授与式および卒業記念パーティー (4) 院生学会出席補助 (5) フォーミュラカー製作補助
会議	理事会 (オンライン)	理事会

(3) 2021年度 報告案 (2021.4.1 ~ 2022.3.31)

(4) 2022年度 予算案 (2022.4.1 ~ 2023.3.31)

【一般会計】				【一般会計】			
収入		支出		収入		支出	
前年度繰越金	1,763,387	会報発行発送費	0	前年度繰越金	1,763,387	会報発行発送費	0
終身会費	180,000	支部補助	150,000	終身会費	500,000	支部補助	150,000
(卒業生0名)	(0)	総会/講演/懇親会	0	(卒業生0名)	(0)	総会/講演/懇親会	200,000
(在学生18名)	(180,000)	学内事業費補助	120,000	(在学生50名)	(500,000)	学内事業費補助	490,000
総会懇親会参加費	0	名簿整備費	38,500	総会懇親会参加費	0	名簿整備費	38,500
受取利息	13	会議費	0	受取利息	10	会議費	30,000
工業会からの補助	0	事務通信費	770	工業会からの補助	0	事務通信費	100,000
基金会計から受入	0	雑費	0	基金会計から受入	450,000	雑費	5,000
その他収入	245,900	事務補佐員	0			事務補佐員	15,000
(川嶋研 OB 会から の寄付)		その他支出	2,750				
		次年度へ繰越	1,877,280			次年度へ繰越	1,684,897
合計	2,189,300	合計	2,189,300	合計	2,713,397	合計	2,713,397
【基金会計】				【基金会計】			
収入		支出		収入		支出	
前年度繰越金	6,139,747	一般会計へ振替	0	前年度繰越金	6,139,747	一般会計へ振替	450,000
受取利息	52	事務通信費	0	受取利息	50	事務通信費	0
		次年度へ繰越	6,139,799			次年度へ繰越	5,689,797
合計	6,139,799	合計	6,139,799	合計	6,139,797	合計	6,139,797

川嶋研 OB 会から、245900 円を寄付して頂きました。
寄付金は、一般会計に繰り入れ、巴会の発展のために有益に使用させて頂く予定です。

巴 会 会 歌

作詞 井上俊一 (明四十三卒)
作曲 宮崎安兵衛 (片)

一、正気籠れる東陵に
誓も堅き健児等が
健実の気風樹立して
不撓不屈の旗高し
フレフレ

二、高き自覚に溢る意気
確き自信に腕の業
若き健児が鍛え得し
稜々気骨の血は躍る
フレフレ

三、汚穢紛々の文明に
憂国義憤の人あらば
血潮と汗に清らけき
巴の健児が誠さけ
フレフレ

四、春妖香の霞わけ
秋壮烈の霜を踏み
集いて健児紫旗影に
永久の団結歌うなり
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械
フレ機械フレ機械

2022年度 巴会理事会・総会のご案内

日時：2022年8月27日（土）

場所：オンラインと対面のハイブリッド

オンラインのサイト 総会の1週間前までに tomoekai.nitech@gmail.com までご連絡くださった方に
折り返しお知らせします

対面 名古屋工業大学51号館1階5111講義室

理事会・総会 10:00～10:50

議事：

2021年度事業報告 2021年度会計報告・監査報告

2022年度事業計画 2022年度会計予算案

巴会役員改選に関する件

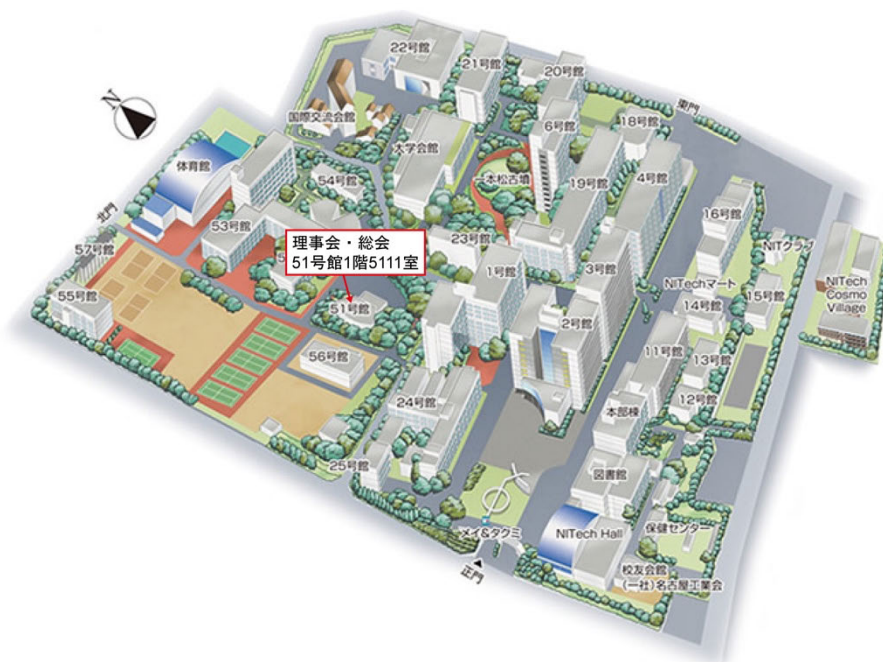
講演会 11:00～12:00

演題 「基幹工学教育課程について ～新たな学びへの挑戦」(仮)

講師 電気・機械工学科電気電子分野 教授 岩崎 誠先生

演題 「機械工学分野の将来ビジョンについて」(仮)

講師 電気・機械工学科機械工学分野 教授 田中 由浩先生



メールアドレスの共有のお願い

巴会では、総会の案内や会報ともえの発刊などの各種案内を、登録済みのメールアドレスを通じて会員の皆様に積極的に発信したいと考えております。巴会からの郵送等によるご案内はすでに終了しており、代わりにホームページを通じてこれらの案内をして参りましたが、それだけでは不十分と考えられるからです。しかしながら、現在の巴会会員データベースでは、会員数に対して登録されているメールアドレス数が大変少なく、このままでは十分な情報発信が難しい状況です。

そこで会員の皆様には大変お手数ですが、ご自身のメールアドレスを巴会事務局に積極的にお知らせいただき、連絡用のメールアドレスをデータベースに登録させていただければ幸いです。なお、頂いた情報は、巴会からの案内以外に用いることはございません。不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

連絡先： 巴会事務局（E-mail アドレス：tomoekai.nitech@gmail.com）

ご連絡いただきたい内容

- ・卒業・修了年：
- ・(卒業時) 氏名：
- ・メールアドレス：

以上